

2024年度事業計画書

2024年5月19日

NPO法人 DK・できること

代表理事 岡本 朗子

1. 事業計画内容

古淵のおおきな かぶは5年目、ねこ店も3年目を迎え、様々な側面で安定期に入ろうとしている。地域でのニーズ、利用児童様・保護者様や職員のニーズを鑑み、2024年度の事業計画を以下に掲げる。

【おおきな かぶ 古淵の運営について】

・開業5年目となる今年度の古淵の主たる運営計画について述べる。

ア 児童福祉法に基づく児童発達支援事業について

- ・内容 児童発達支援を通じて、発達に障害のあるお子さんに対する健全な育成の支援とご家族への支援を実施する。
- ・日時 2024年4月～2025年3月 毎週水曜日～日曜日 9時～17時
- ・場所 相模原市南区古淵3丁目8番14号
- ・従業者人数 2024年4月～2025年3月 常勤換算4名（うち常勤2名以上）
- ・受益対象者 発達障害のある未就学児 1.3人/日
- ・本店児童発達支援 契約者数およびのべ利用者数予想推移

	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	年間
契約児童数	22	29	29	29	29	29	29	-
のべ利用数	26	40	40	40	40	40	40	466

・収益見込み金額 756万円（うち、未収金 128万円）

・支出見込み金額 524万円

イ 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業について

- ・内容 放課後等デイサービスを通じて、発達に障害のあるお子さんに対する健全な育成の支援とご家族への支援を実施する。
- ・日時 2024年4月～2025年3月 毎週水曜日～日曜日 9時～17時
- ・場所 相模原市南区古淵3丁目8番14号
- ・従業者人数 2024年4月～2025年3月 常勤換算4名（うち常勤2名以上）
- ・受益対象者 発達障害のある就学児 5.7人/日
- ・本店放課後等デイサービス 契約者数およびのべ利用者数予想推移

	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	年間
契約児童数	97	98	98	98	98	98	98	-
のべ利用数	109	130	130	130	130	130	130	1539

・収益見込み金額 1895万円（うち、未収金 315万円）

・支出見込み金額 1,729万円 この他、長期借入金返済は180万/年

【おおきな かぶ ねこ店の運営について】

- ・開業3年目となる今年度のねこ店の運営計画について述べる。

ア 児童福祉法に基づく児童発達支援事業について

- ・内 容 児童発達支援を通じて、発達に障害のあるお子さんに対する健全な育成の支援とご家族への支援を実施する。
- ・日 時 2024年4月～2025年3月 毎週水曜日～日曜日 9時～17時
- ・場 所 相模原市南区南台5丁目15番地6号
- ・従業者人数 2024年4月～2025年3月 常勤換算職員3名（うち常勤2名以上）
- ・受益対象者 発達障害のある未就学児 3人/日
- ・ねこ店児童発達支援 契約者数およびのべ利用者数予想推移

	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	年間
契約児童数	26	27	28	30	32	34	2名ずつ増	-
のべ利用数	40	50	52	54	56	58	2名ずつ増	704

- ・収益見込み金額 795万円（うち、未収金203万円）
- ・支出見込み金額 584万円

イ 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業について

- ・内 容 放課後等デイサービスを通じて、発達に障害のあるお子さんに対する健全な育成の支援とご家族への支援を実施する。
- ・日 時 2024年4月～2025年3月 毎週水曜日～日曜日 9時～17時
- ・場 所 相模原市南区南台5丁目15番地6号
- ・従業者人数 2024年4月～2025年3月 常勤換算職員3名（うち常勤2名以上）
- ・受益対象者 発達障害のある未就学児 6.2人/日
- ・ねこ店放課後等デイサービス 契約者数およびのべ利用者数予想推移

	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	年間
契約児童数	60	60	62	64	66	68	2名ずつ増	-
のべ利用数	96	120	124	126	128	130	2名ずつ増	1576

- ・収益見込み金額 1,350万円（うち、未収金277万円）
- ・支出見込み金額 1,307万円 この他、長期借入金返済は210万/年

2. 今年度の全般的支援目標及びその計画

以下の活動の①～④の全ての活動は本店とねこ店が連携し、原則合同で企画・実施・情報交換をしながら運営を進めるものとする。

- ① **保護者様の連携・交流の場を創設する** 今春、複数の保護者様から、保護者さま同士の交流を求める要望や意見をいただいた。当事業所の保護者様の中には、積極的に他の保護者様とのコミュニケーションを図ろうとくださっている方、職業として医療・福祉・教育等方面での対人援護職についていらっしゃる方、親の会の運営をされている方等が複数名存在する。勉強会やお茶飲み会など、多様な活動で保護者様の出てきやすいシチュエーションを作り、保護者様の孤立を防ぎ、セルフヘルプの関係を作れる様、支援する。
- ② **保護者様と職員が共に学ぶ場の提供** 今秋、当法人所属の公認心理士を講師とし、性教育に関する

る講習会を開催する。そこでは、保護者様・職員が共に学び、意見交換をすることを目標とする。

- ③ **ねこ店の安定的運営** 3年目に入ったねこ店は昨年度、サービス提供数を着実に増やしてきたが、収支を精査すると、未だ安定期には至っていないと言える。今年度も着実に利用者サービス提供数を増やし続け、このまま安定的運営に入ることを目標とする。そのためには、職員のメンタルヘルスをはじめとし、快適に働ける職場であることが大前提である。
- ④ **職員研修の充実および労務管理** ③の目標達成に不可欠な要素として、職員のモチベーションを高め、目標を見据えてやりがいを持ちながら快適に働けることを目指す。そのため、職員が業務上優先的に内外の研修に積極的に参加できるよう支援する。同時に、財務会議で産業カウンセラーでもある美野ひろ子先生に毎月、職員の勤務状況をご報告し、労務上の問題点等を早期発見できる態勢を継続し、問題の端緒が発見された場合には速やかに対処する。

3. 事業に伴う収支

別紙の活動計画書の通り

以上